

# 岡山県青年会会報

発行者  
岡山県青年会  
編集  
公益財団法人備中館

岡山県青年会学生幹事長挨拶

令和5年度幹事長 成本 智哉



青年会の会報誌の挨拶文の執筆にあたり、岡山県青年会がそもそもどのようなものか調べてみました。岡山県ホームページを見ると、『岡山県青年会は、岡山県出身で東京に居住する学生が、郷土の先人たる先輩諸氏の御支援と御指導を得ながら、互いに切磋琢磨し、親睦を深め、次代を担う人材の育成を目的として、明治十二年に設立されました。運営にあたっては、東京にある県出身者を対象にした4つの学生寮(育英会東京寮、鶴山館、精義塾、備中館)の学生が中心となって進め、総会、球技大会の開催、会報の発

行など、学生が企画し実施する学生主体の活動を行っています。』と述べられています。明治十二年の設立から百四十四年の歳月が経過し、実に一世紀半にわたる長い歴史をもつ団体であることを実感しました。ここから各寮の歴史について興味を持ち調べたところ、私の所属する備中館は明治三十四年、鶴山館は明治二十四年、精義塾は明治二十六年、育英会東京寮は大正十三年に創設されたことが分かりました。このことから青年会は四寮が創設されるより前から存在していたことがわかり、その歴史の深さに改めて感銘を受けました。そして、元々は岡山県出身で東京在住の全学生を対象にしていたということを再認識しました。

さて、現在の青年会の状況についてお話しいたします。青年会に所属する四寮の学生は、岡山県人会や吉備クラブなどの行事に参加することができます。これらの行事では、岡山県出身の関東で活躍される大先輩方と交流する機会が提供され、学生にとって非常に有益な経験となっています。私自身も、これまで県人会に一回、吉備クラブに二回参加しましたが、講師の方々からありがたいお話を聞くことができ、岡山県出身の企業の社長や重役の方々ともお話をする機会がありました。さらに、美味しい料理も楽しむことができ、非常に充実した経験となりました。

しかしながら、参加する学生が少ないためか、学生以外の参加者と学生との交流の少なさや、先輩方への話しかけづらさも感じました。吉備クラブに關しては、そもその趣旨は首都圏在住の岡山ゆかりの経済界の第一線でご活躍の方々と、若手県人会会員や学生などが世代を超えて交流することが目的です。しかし、現状ではその趣旨が満たされていないと感じます。これらの課題を解決し、趣旨に合致した活動を促進するためには、より多くの寮生が参加することが重要です。また、学生以外の参加者の方々にも積極的に学生とコミュニケーションを取っていただけるとありがたいです。

次に、青年会その他の行事について触れます。昨年のフットサル大会では、残念ながら参加者が集まらず、主催の

常には有益な経験となっています。鶴山館の寮生がほとんどを占めていたそうです。寮生同士の交流は非常に面白く、刺激的な経験になることから、今よりも寮生交流の機会が増えることが望ましいと感じています。

こうした交流会をきっかけに、個人や寮同士の交流が促進されることを期待しています。また、寮同士の交流がある一方で、寮に所属していない岡山県出身の学生との交流機会が限られている状況です。この点についても改善し、寮生以外の学生とも交流できる場を提供できればと考えています。

以上、青年会の現状と今後の展望について述べていただきました。ご支援頂いている大先輩の皆様にご感謝申し上げます。今後とも、ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

### 目次

○令和5年度 青年会の主な活動

○四寮近況報告

・育英会東京寮 ・鶴山館

・精義塾 ・備中館

○大学生への就職支援

○新規会員の募集

○維持会費のご案内

## 令和5年度 青年会の主な活動

岡山県青年会では、役員会、総会を年1回実施しています。随時、学生幹事会を開催し、情報交換や青年会の行事について話し合います。

学生同士だけでなく、各界で活躍されている岡山県出身の先輩方と若い世代の交流の場として、岡山県東京事務所等が開催する「吉備クラブ」や「岡山県人の集い」にも参加しており、スタッフとして準備・運営にも関わります。

5月に開催された「吉備クラブ」には、4名の会員が参加しました。講話では、木村 正明氏（株式会社ファジアーノ岡山スポーツクラブオーナー）が『逆境への挑戦〜誇りを持って地域と生きる〜』をテーマに、プロクラブやリーグ経営者としての視点から、集客数の増加を目的としたデジタルマーケティングの導入等、前向きかつ細やかな工夫をお話しされました。

9月にザ・キャピトルホテル東急（千代田区永田町）において開催された在京の岡山県出身者等の親睦を深める東京岡山県人会「岡山県人の集い」には、17名の学生が参加し、岡

山弁が描かれた「もんげーTシャツ」の販売ブースの運営を行いました。

役員会（9/16）には学生幹事が参加し、役員の皆様へ今年度の活動予定について報告しました。役員の皆様から積極的な交流を図ってほしいという声を多くいただきました。

総会（2/2）は、「第48回吉備クラブ」との合同開催となっており、文部科学事務次官 藤原 章夫氏（岡山市ご出身）の講演が行われます。

さらに、寮対抗のフットサル大会も復活へ向け動き出しています。コロナ禍を経て、寮同士の交流が復活できるように、学生幹事が寮を代表し、意見を交わしながら進めています。

### 近況報告 育英会東京寮

私たち育英会東京寮は、東京近郊の様々な大学に通う総勢四十四名が暮らす、港区高輪にある学生寮です。最寄りの品川駅は新幹線の停車駅のため、趣味やアルバイトにも便利な場所です。二階から四階までが居住スペースとなっています。

コロナ禍以前は先輩と後輩でペアを組み、二人一部屋を使用していましたが、現在は一人一部屋使用する形と



なっています。共用スペースは風呂場、食堂、トイレ、洗濯場となっています。

建物の外見や内装、設備は年季が入ったものもありますが、随時改修工事が行われており、一般的な生活を行う上では支障ありません。部屋の防音対策や、洗濯機や各部屋のエアコン交換、三コルターなど、費用が必要な設備に関しては、改修を待っているところ です。

寮内でのルールは、寮生自治の名の通り寮生間で活発に議論した上で決定しています。コロナ禍をはじめとするイレギュラーや時代の移り変わりに適応していくとともに、寮生全員がより良い寮生活を実現することを目的とし、寮生による話し合いの場とな

る寮生総会を毎月行っています。コロナ禍では、これまで行われていた山手線一周リレーや寮祭など多数の行事が中止となり、現在でもその状態が続いています。

コロナ禍以前は、特定のバイト等のつながりや、一年生と二年生間で寮の細事を教えるためのペアを作り、交友を深めたりする機会があったのですが、現在は、寮生同士の関わりが昔と比べ希薄となってしまい、孤立する人も多くなってしまうと聞きます。そんな今だからこそ祭事の復活等を通して交友をより深めていくべきだと考えています。また、朝夕食事付きで、寮の料理人さんが朝夕に腕を振



るい、工夫を凝らしたおいしい料理で  
体を作っています。

良い先輩方と出会い、恵まれた立地  
や、健康にも配慮された環境で、楽し  
く生活しています。

育英会東京寮 2年 土屋駿介

### 近況報告 鶴山館

鶴山館はその名が表す通り明治に  
本郷森川町で数名の津山出身者が共  
同生活をしていたことに始まる。その  
後明治二十四(1891)年に正式に  
組織運営が開始され、爾後百三十二年  
に渡り郷里から東京に飛び出した有  
志の若人の宿木として役目を果たし



てきた。そして文教の雰囲気を満た  
本郷での鶴山館の生活を通して、各方  
面にて活躍する岡山県人を多数輩出  
し、岡山県ひいては日本国の繁栄にさ  
さやかながらも寄与する存在であつ  
た。

そんな鶴山館に昭和末期に大きな  
転機が訪れた。それは老朽化した鶴山  
館の土地・建物を売却して現在の西東  
京市に広がる田園地帯への移転計画  
である。思い入れ深い本郷の地をあと  
にすることには、卒業生の諸先輩らに  
とり寂寥たる思いがあったと拝察す  
るが、結果としてみれば、鶴山館が古  
い衣を脱ぎ捨て新時代を築き上げる  
上では良き選択であったと思う。そう  
して移転した保谷の地での生活も早  
三十年の歴史を重ね、春日溢れる秋風  
薫る快活なる環境で鶴山生は人生を  
翔る大いなる翼を涵養している。

近年の鶴山館は改修などを重ねて、  
住環境としては学生寮と聞いて世間  
一般が抱くイメージと大きく乖離す  
る、非常に整った施設へと変貌した。  
このような物質面での充実に加え  
て、鶴山館が大事にしていることは寮  
生の個性を大事にするということだ  
である。鶴山館では新入寮生面接の段階  
から多様な個性を受け入れることを



意識している。そのため入寮希望者の  
学歴より、将来の目標や過去の取り組  
みなどに基づいた評価を行い、異なつ  
た個性の寮生が集まる環境を敢えて  
作り出すようにしている。これは寮と  
いう非常に近い人間関係が築ける環  
境で異なる個性がぶつかり合い刺激  
し合い、互いの違いを認めつつ相互に  
高め合える場を作り出すためである。  
このように日々の中に刺激を作り、岡  
山から東京に飛び出した青年諸君が  
有意義な学生生活を送れることが、鶴  
山館の最大の魅力であるといえよう。

鶴山館 4年 垣内真悟

### 近況報告 精義塾

私たち精義塾は四年生三人、二年生  
三人、一年生八人の総勢十四名からな  
る、学生が主体となって運営を行う学  
生自治の寮です。

他寮と比べると人数は少なめです。  
しかし、その分先輩や後輩、同期同士  
の距離が近く、とてもアットホームな  
雰囲気です。常に笑いが絶えない寮です。  
精義塾には雀部屋という娯楽部屋や  
卓球台などがあり、多くの学生が学年  
の垣根を越えて楽しく過ごしていま  
す。

また、精義塾は行事の多さも特徴的  
です。年二回の旅行や月に一回のバー





ベキュー、月ごとに目標を決めて寮全体でそれに取り組む「月目標」といった行事を通じて、より仲を深めていております。

しかし、ただ単に楽しむ、住むだけの寮ではありません。学生自治のため、二週間に一回全員が集まって寮の運営や改善点について話し合う会議の場を設けています。そこでは、不満があれば既存のルールを改訂し住み良い環境をつくる、ミスがあれば改善策を議論し再発防止に努めるなど、学生一人一人が精義塾の一員と自覚しています。

他にも、年に二回、SSとの食事があったり、寮に来て一緒に談笑したりと、OBとの強いつながりがあることも

特徴の一つです。

『精義』とは、『物事に詳しくなる』という意味を持ちます。その看板に恥じぬよう、学問の研鑽を積み、勉学に励みながら学生生活を過ごすとともに、百五十年近く続く伝統をこれからも守っていきます。

精義塾 1年 藤田圭吾

### 近況報告 備中館

備中館の現在の寮生状況は、卒館者三名、中途退寮者一名で、今年度は新規入寮生二年生一名と一年生四名の計五名が入寮しました。また、全十六部屋が満員となり、人数構成としては一年生と二年生が十一名で寮生の過



半数を占めている状況です。加えて、新規入寮の応募者数も増加しており、昨年同様例年より多い新規入寮者がいます。

備中館の魅力は、学生自治の寮であるため門限や食事時間の決まりがなく自由な生活ができることです。また、全体で十六名と少人数なため、寮生同士が集まりやすく、交流も盛んであることも魅力の一つです。そして、生活するにあたり基本的な設備が充実しており快適に生活することができ

ます。平日の夜には食事の提供があり、調理師の方が寮に来て毎回料理を作ってくださいります。一人分が皿に盛りつけられた状態で冷蔵ショーケースに置かれているため、寮生は好きな時間に食事をとることができます。毎食一汁三菜あり、とてもおいしく、栄養バランスもとれており、平日忙しい寮生にとって非常にありがたいです。

次に、寮生が自由に使える台所があり、休日には自炊をすることができま

す。そして、お風呂についてですが、全体的に広く、大きな浴槽があり、寮生は好きな時間に自由に利用が可能です。個人の部屋に関してですが、一人六畳の部屋を利用しており、エアコ



ンが完備されているため季節を問わず快適に過ごすことができます。

寮生交流として、春には小石川植物園の周りでマラソン大会を開催し、バベキューを月に一度の頻度で行っています。また、食堂の大型テレビでゲーム大会を開催したり、ボードゲーム大会も行ったりしています。タコ焼き器があるためタコ焼きパーティーもしばしば行われ、今年は新しくホットプレートを購入し、お好み焼きやもんじゃ焼き、焼きそばなどを作る予定です。

備中館は自由な生活スタイルと充実した設備、そしてバランスのとれた食事が提供されます。また、寮生同士の交流機会が豊富であり、寮生活を満喫できる魅力的な場所であります。

備中館 2年 成木智哉

大学生への就職支援

岡山県では、とっとり・おかやま新橋館（東京都港区新橋「二二」）内に大学生Uターン就職コーディネート者を配置し、岡山への就職のお手伝いをしています。

就活に関する相談対応、応募書類の添削、面接対策など、きめ細かな支援を行っています。大学4年生の6月から、求人をご紹介できます。就活前の学生や保護者からの相談も可能ですので、気軽にご利用ください。

※相談はメール、電話、来所、オンラインでも受け付けています。

（業務時間）10:00～18:00

（電話）(03)6280-6951

（メール）u-navi@pref.okayama.lg.jp



とっとり・おかやま新橋館2F  
「移住・しごと相談コーナー」

新規会員の募集

岡山県青年会の通常会員は、岡山県出身の学生です。男女は問いません。育英会東京寮、鶴山館、精義塾、備中館に入寮している学生以外の方も、岡山県青年会に入会いただけますので、学校や知人等で入会を希望される学生がおられましたら、ぜひ左記の連絡拠点へご連絡ください。

入会金は不要で、学生の方（通常会員）の年会費は無料です。

維持会費（年会費）納入のお願い

学生寮を巣立っていかれた先輩方や、岡山県出身の学生を応援して下さっている方に特別会員になっていただき、岡山県青年会の運営のご支援をいただいています。今年も、特別会員の皆様には、青年会の維持会費（年会費）として、一口5千円のご支援をよろしく願っています。

【連絡拠点】

東京都千代田区平河町2-6-3

都道府県会館10階岡山県東京事務所

（電話）(03)5212-9080

（メール）tokyo@pref.okayama.lg.jp

卒業生と新入生の状況

	令和4年度卒業生				令和5年度会員（令和5年4月1日現在）					
	首都圏	岡山県	その他	合計	1年生	2年生	3年生	4年生	大学院	合計
育英会東京寮	1	1	2	4	10	9	10	12	3	44
鶴山館	8	1	3	12	7	8	13	12	0	40
精義塾	4	2	1	7	8	3	0	3	0	14
備中館	2	1	0	3	4	7	2	3	0	16
合計	15	5	6	26	29	27	25	30	3	114

岡山県東京事務所  
公式Instagram



フォロー  
お願いします♪

©岡山県「ももっち」



学生寮問い合わせ先

東京寮 育英会

〒108-0074 東京都港区高輪 3-14-21 TEL:03-3441-3195  
【HP】 <http://www.okayama-ikueikai.jimusho.jp/ryo01.htm>

鶴山館

〒202-0013 東京都西東京市中町 5-10-8 TEL:0424-22-5951  
【HP】 <http://kakuzankan.org>

精義塾

〒112-0006 東京都文京区小日向 1-21-13 TEL:03-3947-6565  
【HP】 <https://www.seigijuku-school.org/>

備中館

〒112-0001 東京都文京区白山 4-8-4 TEL:03-3947-1549  
【HP】 <http://備中館.jp/>